

# 課題研究企画

プロジェクトマネジメントコース 矢吹研究室 1442104 増田 準

## 1. 背景

現代において、Web サイトは見るものから使うものへと形を変えている。「言語や配信の仕組みに変わりはありませんが、広い意味での「Web デザイン」という行為は、その時々に合わせて変化し続けています [1].」とあるように、時代にあった Web デザインが求められている。また、「ネット界は多並行分散型のネットワークになっているので、より多様化を進める方向でウェブという市場は推移する [2].」とあるように、流行の変化に適応することがウェブ運営にとっても重要だと考える。視覚的な良し悪しだけではなく、使いやすさを追求することもデザインの一環であるといえる。例えば、スマートフォンなどタブレット端末が生活に根付いた昨今では、ユーザーは縦スクロールの機会が増え、それにあった Web デザインの重要性も高まっている。では、現代において流行している Web デザインとはどのようなものなのか。

## 2. 目的

この研究では Web デザインに流行のパターンがあるのかを明らかにしたい。海外デザインブログ Designmodo で 2016 年 1 月 4 日に公開された「11 Web Design Trends for 2016[3]」という記事がある。2016 年の Web デザインのトレンドとなるパターンを 11 個紹介したものだ。例を挙げると、情報整理がしやすくデバイスを問わず動作が可能な「カード型のデザイン」。ユーザーが直感的に移動させることができ、スクロール、クリック、時間経過にも対応した「フルスクリーンスライド」。更には、ヘッダーに映画のような高解像度の動画を用いた「ヒーロービデオヘッダー」では、「Web デザインは映画製作のようになるだろう」とも言われている。Designmodo では例年、Web デザインのトレンドが紹介され、注目度が高まっている。この研究では 2016 年現在、世界でアクセス数の多い人気サイトにおいて、記事に紹介されたパターンが、トレンドパターンを用いていない Web サイトよりも多くあるかを検証する。

## 3. 手法

この研究はディープラーニングを用いて行われる。Caffe という画像解析用ライブラリと Python を利用する。スクリーンショットで Web サイトのデザインを保存し、2014 年から 2016 年までのトレンドパターンに分類し、パターンを記憶させる。その際、各年には複数のトレンドパターンが存在するため、ジャンルが近いものを対象とする。例えば、ジャンルを「配色」とするならば、2016 年は派手でカラフル(80 年代を連想させる)な配色、2015 年は単色でアクセントが強調される配色、そして 2014 年はシンプルで清潔な配色と紹介されており、対象となりえる。研究の方法として、予め各年度のパターンが使用されている Web サイトのデザインを最低 10 個記憶させる。もちろん、記憶させる画像の数が多ければ画像解析は正確になりうるので可能な限り集める。その後、様々な Web サイトがトレンドパターンに当てはまっているかをディープラーニングで解析する。「データマイニングを利用してヒットの要因を把握する技術は、プロジェクトの新規性を見出す方法のひとつとなる [4].」とあるように、この研究には PM との関係性もあるといえる。

## 参考文献

- [1] こもりまさあき・赤間公太郎. Web デザインの新しい教科書, 改訂新版. エムディエヌコーポレーション, 2016 年.
- [2] 西垣通. ユーザーが作る知の形, 角川インターネット講座, 第 6 巻. 角川学芸出版, 2014 年.
- [3] Designmodo. 11 web design trends for 2016. <http://designmodo.com/web-design-trends-2016/> (2016.06.29 閲覧).
- [4] 松本耕太. 玩具開発プロジェクトのためのデータマイニング手法. 課題研究, 千葉工業大学, 2013 年.